

会議名	第19回 加古川市石綿関連疾患リスク推定部会	
日時	令和6年1月26日(金) 午後0時30分~午後0時40分 加古川市役所 南館 301会議室	
出席者	部 会 員：村山部会長、名取委員、亀元委員、富田委員、大田黒委員 建 設 部 糶谷建築担当部長 事 務 局：営繕課 上内課長、高木副課長、森岡担当副課長、尾崎担当係長、森田主査	
会議次第	1. 開 会	備考
	2. 部会員出席状況報告	
	3. 配布資料確認	
	4. 議 題	
	議題1 大気拡散実験の実施概要について	
	5. その他	
	6. 閉 会	
配布資料	資料1 大気拡散実験実施概要	

第19回 リスク推定部会 議事録（全文）

1. 開 会

2. 部会員出席状況報告

3. 配布資料確認

事務局 本日の部会を始めさせていただきたいと思います。部会長、議事進行につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

部会長 よろしく願いいたします。それでは次第に従って進めさせていただきます。

4. 議題

議題1 大気拡散実験の実施概要について（結果報告）

事務局 大気拡散実験の実施概要について説明します。石綿飛散事案発生当時と類似した気象条件で、別府中学校管理棟校舎からトレーサーガスを放出し、指定された地点で空気を捕集することにより、トレーサーガスの拡散状況を測定しました。校舎内の拡散状況を測定する、主に屋内における実験と、屋外の拡散状況を測定する、主に屋外における実験の2種類を行いました。本実験では、トレーサーガスが屋内外に拡散されていくことや、屋内では捕集される濃度が高濃度になることが想定されたため、予備実験を行いトレーサーガスの濃度、放出方法、放出量を決定しました。また石綿飛散事案発生時における空気の流れをできるかぎり再現するため、作業場内での作業者の動きを考慮するとともに、作業場の間仕切りや教室のドアの開閉を再現し、行いました。実験の実施業者としては、（一財）日本気象協会関西支社と委託契約を締結し、実験を行いました。実験の行程は「資料1」中段の表のとおり、屋内と屋外のそれぞれの予備実験を行い、その後本実験を行いました。実施日は予備実験については主に屋外が令和5年8月3日4日、主に屋内が令和5年8月5日6日、本実験が主に屋内が8月18日19日、主に屋外が8月20日21日です。実験の場所は、石綿飛散事案が発生した別府中学校で行いました。放出地点は別府中学校3階廊下及び給食配膳室棟の屋上です。捕集地点は、後に図でご説明いたします。実験の方法は、トレーサーガスを放出し、捕集地点で空気を捕集し、E DC ガスクロマトグラフで分析する方法をとっております。トレーサーガスとしては、PMCHという物質を使っております。実験仕様について主に屋内における実験の放出概要は、トレーサー

物質はPMCH (20ppm) ガスを使用しています。ガスの放出方法は、実験開始後5分間放出しました。放出量は、10L/min です。捕集の概要は8連サンプラーを使用し、吸引速度は150mL/min です。捕集本数は1地点あたり8本、捕集時間は30分を8回行い、計4時間です。捕集地点は27地点です。続いて主に屋外における実験の概要は、トレーサー物質は屋内と同じPMCH (20ppm)、ガスの放出方法は定常放出で60分間です。ガス放出量は10L/min、捕集は8連サンプラーを用いて行いました。吸引速度は150mL/min、捕集本数は1地点あたり6本、捕集時間は10分を6回行い、計1時間です。捕集地点は30地点です。

(資料3ページ目は) 分析装置の概要です。

(資料4ページ目は) 主に屋内における捕集地点図です。全体で27地点の位置を示しています。

(資料5ページ目は) 主に屋外における捕集地点図です。全体で30地点の位置を示しています。

実験概要の説明は以上です。

部会長 この内容について、ご質問等ありますでしょうか。
 —ご意見なし—
 この結果に基づいて作業を進めることとなります。

5. その他

(閉会)